

三原台校区における公園・緑地等の整備プラン案に対するご質問等と本市の考え方について

実施期間：令和 2 年 4 月 2 日から 4 月 30 日まで

ご質問等の提出者数：65 人

1. 田園公園の整備プラン案について（パンフレット 3～4 ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
1	田園公園園路と近畿大学医学部等敷地内の通路とのつながりや、これまでの緑道との距離の違いを具体的に示してほしい。	緑道の通行機能については、近畿大学医学部等（以下、近畿大学）の開設により、位置や形状は変わりますが、堺市と近畿大学との間での協定を締結し、これまでどおりの通行機能を確保します。 距離については、三原きりん公園前からくぬぎ橋へは、近畿大学の通路を通った場合は現状より約 50m、田園公園北側エントランスからくぬぎ橋へは、田園公園の新たな園路を通った場合は現状より約 10m 長くなることとなります。 なお、近畿大学の工事期間中は近畿大学敷地内の現行の緑道（園路）を閉鎖しますが、迂回路を設置し、泉ヶ丘駅方面への動線を引き続き確保していきます。
2	田園公園の新設主園路は、下って、急な坂をのぼる必要があり、体力のない高齢者や障害者等には使えないのではないか。	歩行者動線である「新設主園路」については、堺市公園条例の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準（以下、バリアフリーの基準）から縦断勾配は 5 パーセント以下となるように整備し、高齢者や障害者等にも配慮した設計とします。
3	ベビーカーは階段を通れず、大きく迂回しなければならないため、田園公園の主園路は、バリアフリー化して欲しい。	バリアフリーの基準に基づき、公園の出入口から公園内の各施設に至る主園路は、ベビーカーが通れるよう段差のない整備をします。
4	過去の説明会では、緑道の幅は 10m と説明していたが、資料では 5m とあり、説明と違うのではないか。	緑道は主に歩行者と自転車が通行する通路と植栽帯で構成しています。通路はアスファルト（赤色）等で舗装し、植栽帯はサクラなどの高木やツツジなどの低木を植栽しています。 これまでに説明した緑道の幅「10m」は、通路両側の植栽帯を含んでおり、「5m」は、舗装された通路の幅を示しています。今回の整備計画においても、植栽帯を含め 10m の幅を確保しています。なお、5m は、歩行者、自転車が安全に通行できかつ管理車両が通行できる幅としています。
5	住戸の窓から見える「健康・休憩コーナー」や西側改修主園路の Y 分岐の位置を変えて欲しい。また、南	西側の主園路については、植栽帯を含め 20m 幅、通路の舗装幅は 3～5m として計画していま

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
	側エントランスから Y 分岐までは多くの方々が利用されることになるので、道幅を 10m に拡幅して欲しい。近大病院から住戸の部屋が見えないよう、病棟からの目隠しとして、桜は間隔を詰めて植えて欲しい。	す。 主園路の Y 分岐の位置については、現状の地形を加味し、新設主園路がバリアフリーの基準に基づき縦断勾配を 5 パーセント以下となるように計画しています。 また、園路沿いに植栽するサクラなどの高木は、健全に生育することで目隠し機能を確保する効果があります。樹木が健全に生育させるためにゆとりある植樹間隔を確保します。 なお、ご意見にありますように、健康・休憩コーナーについては施設配置をする際に周辺の環境に十分配慮して整備をしていきます。
6	“近畿大学敷地と一体的な空間を形成”と書かれている部分に主園路が通ると、折角残るはらっぱ広場をつぶすことになる。少々遠回りでもすぐ下に道はあるのに、主園路が必要なのか。近大の敷地との境界線にするためではないのか。	近畿大学の敷地内には、これまでの通行機能を確保し、それに加えて本主園路を整備することで、南北方向の動線に加えて東西方向の動線についても公園内の移動の円滑化を図り、公園利用者等の利便性をさらに向上させます。本主園路は、はらっぱ広場と近畿大学敷地との間を通ることになりますが、近畿大学敷地と田園公園との間にはフェンス等を設置せず、一体的に行き来・利用ができる空間として整備していきます。
7	『はらっぱ広場』と近畿大学敷地の「サクラ広場」と一体的な空間を形成するとあるが、近畿大学敷地の「サクラ広場」とはどんなものなのか提示してもらわないと何処が一体なのか解らない。	近畿大学敷地の「サクラ広場」周辺には、近畿大学の建物は配置せず、広場空間とすることが示されています。当該エリアにおいては、近畿大学敷地と田園公園との間にフェンス等を設置せず、一体的に行き来・利用ができる空間を計画しています。
8	北側エントランスから南東へ延びている園路を拡幅すれば人や自転車、単車の通行量が増えることが懸念されるので、今の道幅のままにしておくことを強く希望する。	現状の幅員のままにします。
9	主園路は、歩行者と自転車が分離されていることが一目で分かるように、歩行者は「赤」自転車は「青」など色分けや絵で示してほしい。	歩行者と自転車の分離は、舗装に中央ラインや路面マークを標示するほか看板を設置することでわかりやすくします。
10	東大谷高校からジョイパークの入口までの園路は、夜間は暗いので、おしゃれで明るい街灯にして欲しい。また夜間は、公園側の樹木が薄暗く恐怖を感じるので、不審者が隠れる場所がないよう見通しを良くしてほしい。高木も間隔を空けて、枝と枝が重ならないようにして欲しい。	公園の主園路については、大阪府安全なまちづくり条例等に基づき、「人の行動を視認できる程度以上の照度※」を確保することを基準としています。 なお、樹木を植える際、高木においては間隔を 5メートル以上開けるなどゆとりある植樹間隔を確保するほか、低木においても死角を作らないことを考慮するなど、良好な通行環境を確保していきます。 ※人の行動を視認できる程度以上の照度とは、4

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		メートル先の人の挙動、姿勢等が識別できる程度以上の照度をいい、平均水平面照度がおおむね3ルクス以上のものをいう。
11	自由広場（グラウンド）が現状と比べ、東南部分が中央東階段の近くまで切られている。土・日・祝日は抽選までしている利用頻度の高い広場は、現状のままの広さであるべき。	現在、自由広場（グラウンド）は土・日・祝日の午前、午後を抽選により利用者の調整をしており、これまで、少年野球等多様な団体にご利用いただいています。一方で、地域住民の方が週末等にグラウンドを気軽に利用できない状況にもなっていました。市ではこの課題を解決するため、地域住民の方がいつでも利用できる多目的広場を新たに確保しつつ、これまで通り少年野球やソフトボール等ができる規模のグラウンドを確保することとしています。グラウンドの面積は減少しますが、多様でより多くの方が公園を利用できるよう改善していきますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。
12	グラウンドの排水性の改善だけでなく、破損した溝の改修や落ち葉、砂等のさらえもして欲しい。	グラウンドの排水性の改善に加え、既存の側溝改修、定期的な清掃により雨水排水処理の改善を行います。
13	田園グラウンドは、この辺りでは唯一サッカーボールを蹴れる公園なので、これまで通り遊べるようにして欲しい。	自由広場（グラウンド）、多目的広場、はらっぱ広場について、これまで通りの利用をしていただけます。ただし、グラウンドは再整備の工事に伴い一時的に使用できない期間が発生しますので、その際は改めて市のホームページ等でお知らせします。 なお、本市の公園においては、すべての球技自体を禁止するのではなく、他の公園利用者や近隣住民に迷惑となる行為を禁止しています。野球やソフトボール、サッカー等の団体球技をする場合は、土・日・祝日の抽選による利用や専用施設をご利用ください。
14	芝生スタンド観戦とあるが、遠いライトスタンドで誰が観戦するのか。	自由広場はソフトボールや軟式野球をはじめ多様なスポーツに使用してもらうことができます。芝生スタンドは試合観戦だけでなく、日ごろの憩いの場としても活用していただきたいと考えています。
15	多目的広場に設置予定されているバスケットゴール周辺は、ゴムチップ舗装すれば音の軽減、排水性の向上、クッション性と防滑性による怪我の予防の効果がある。	ゴムチップ舗装については、すべり台や鉄棒の着地面等、主に遊具まわりの削れ掘れ防止を目的に整備していますが、バスケットゴールを設置する周辺の環境や表土の排水性を考慮したうえで対応します。
16	多目的広場には、パーゴラではなく、雨や日差しを遮る休憩施設（テーブル、イスがあるもの）の方が利用しやすい。	パーゴラは造形的に、あるいは影の効果など景観構成上重要な施設です。近年は日陰面積が大きく、日除けとして十分機能する製品もありますので、ご意見を参考に設置する周辺の環境にも十分配慮し、休憩施設の選定を行います。

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
17	<p>・「斜面を活かした広場」に新設する滑り台は出来るだけ長いジャンボ滑り台にして欲しい。</p> <p>・「斜面を活かした広場」は、利用者の年齢層を考えると中・高生向けの遊具がいい。</p>	<p>造成により整備する「斜面を活用した広場」は、雑木林の植栽空間を再現するイメージです。今回のご意見を参考に、遊具の選定にあたっては、敷地の地形・植生などを活かすとともに、子どもの年齢に応じたもの、安全確保に十分配慮し、公園全体の計画と整合のとれたものとします。</p>
18	テニスの壁打ちができるような場所を作って欲しい。	<p>テニスの壁打ちについては、個人または少人数で利用されることが想定され、他の公園利用者の安全対策を考慮すると特定の利用者の専用施設として整備する必要があります。今回の整備では、子どもから大人までより多くの方が多様な使い方ができる公園になるよう考えており、特定の専用施設を整備する予定はありませんのでご理解のほどよろしくお願い致します。</p>
19	主園路には、サクラだけでなく今以上にいろいろな花や木を植えて欲しい。春夏秋冬楽しめるよう、更にキンモクセイやモクレン等で多種多様に楽しめると良い。	<p>今回の整備計画では、サクラ以外の高木や花が咲く低木も植え、四季を感じることができる景観を形成していきます。</p> <p>また、造成により整備する斜面を活用した広場は、雑木林を再現することを基本に、里山の雰囲気を持った植栽空間としていきます。</p>
20	泉ヶ丘プール跡とグラウンドの斜面に植わっていた“もみじ”の移植をお願いしたい。	<p>当該公園の整備や近畿大学の工事、または安全・安心の観点から、やむを得ず伐採する樹木は出てきますが、樹形や樹勢が良い健全な樹木は保全（移植も含む）を基本としており、移植が可能か調査、検討し対応しますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。</p>
21	はらっぱ広場のアメリカ楓の紅葉は大変美しく、近隣住民に憩いの場を提供してくれるので、絶対伐採しないでいただきたい。	
22	近畿大学病院の工事後は、公園はそのままでも整備しなくても良く、今の生活道路と道端のサクラを残して欲しい。	
23	<p>交流・憩いのはらっぱ広場の中央付近でのトイレの新設は邪魔であり、必要がなく、休憩あるいは自動販売機コーナーなどのほうが良い。自由広場（グラウンド）の既存のトイレを改修して、手洗い場を新設すればよい。</p> <p>または、景観の観点「新設トイレ」を「新設多目的広場」近くに設置して欲しい。</p>	<p>都市公園のトイレは、障害者、高齢者、乳幼児連れの人々等誰もが安心して利用できるよう整備する必要があります。新しいトイレの計画位置は、自由広場や多目的広場、はらっぱ広場からも利用しやすい場所であり、主園路に近く一定の人通りも見込まれる安心な場所であると考えています。トイレの整備においては、周囲の環境に配慮するとともに、監視カメラを設置することや、バリアフリー化にも対応していきます。また、既存のトイレのあった場所には、新たに手洗い場を設置します。</p>
24	多目的トイレは、ベビーカーもトイレの中に入れるような大きいトイレにして欲しい。	<p>堺市公園条例において、多目的トイレ（みんなのトイレ）の広さは、車椅子使用者の円滑な利用に適した広さ（車いすが360度回転できる最低寸法幅150cm）を確保することとしています。また壁掛け</p>

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		式ベビーベッドやチャイルドシートを設置することとしています。
25	自由広場（グラウンド）利用者が駐車していた田園公園駐車場が、昨年 9 月に閉鎖されたが、整備プランには、このグラウンド利用者の駐車場が示されていない。以前から周辺住宅地内では駐車トラブルが続いており、明確な対処方針を示していただきたい。	田園公園に車でお越しの方は、今後整備される近畿大学の駐車場も含め、周辺の民間駐車場をご利用していただくことを想定しています。
26	東大谷高校前の桜並木予定地では、歩道に裸地からの雨水や土砂の流入が繰り返されるため、排水対策をお願いしたい。 「改修北側エントランス」横の公園の土がでこぼこで歩きにくいので、土を入れていただきたい。	ご指摘の内容を十分考慮して整備します。
27	田園公園南側エントランスから、駅までの経路は、歩道橋（くぬぎ橋）を渡るのか、商業施設の中を通行するのか、教えてほしい。 また、くぬぎ橋から南側エントランスまでは、東大谷高校の通学路でもあり、歩道幅員が狭いので、改善策を教えて欲しい。	田園公園南側エントランスから泉ヶ丘駅までの経路はこれまでどおり、くぬぎ橋を渡っていただきます。なお、くぬぎ橋は拡幅のうえ架け替えにより東側に少し移動しますが、エレベーターを併設するなど移動の円滑化を図っていきます。 また、くぬぎ橋から南側エントランスまでの動線は、これまでの歩道に加え、近畿大学において敷地内を通るルートが確保され、大学の車両乗入口と交差せず、安全に通行できる計画となっています。

2. 三原公園の整備プラン案について（パンフレット5～6ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
28	みんなの広場は子どもの遊具が立ち並ぶのではなく、グラウンドとして使えるのか。	遊具は「遊具広場」と「健康広場」を中心に設置し、「みんなの広場」は広場空間（グラウンド）としてご利用いただけます。
29	グラウンドの形状や利用の仕方は、少年野球やグラウンドゴルフのお世話をされている自治会の方々と協議されるべきである。	良く利用される団体に本プランをもって併行してご説明を行っていきます。
30	「みんなの広場」部分は、現在、土曜・日曜日には少年野球が活動されているため、親と子が自由に遊ぶことが出来ない。ノシバ（野芝）を生やして活動できる「みんなの広場」とするのは大変よく、子どもも大人も高齢者も、何時行っても楽しめる「みんなが憩える公園」にして頂きたい。広場の中央付近に高木でも植えるとなお良いと思う。 一方、ノシバは草刈り等のメンテナンス費用がかかるのではないかな？	子どもから高齢者までより多くの地域の方が利用できるよう、広場全体にノシバを整備します。整備後は、経済性や維持管理を考慮し、混入した雑草も一緒に刈り込むことにより、良好な草地に遷移していくことを想定しています。 なお、草刈りについては、年3回行っており、除草のタイミングに併せて芝刈りを実施する予定です。
31	イベント等に使える「ステージ」を新設することは、いろいろ利用価値がある。クロスモールのイベントステージのように屋根のあるステージにして雨の日でも利用できるようにして欲しい。	雨天時のイベント利用までは想定しておらず、屋根付きのステージは設置できませんが、三原公園が地域活動の拠点となるような多様な仕掛けを整備していきます。
32	「交流休憩広場」や「木もれ日広場」は、樹木を伐採して広場をつくるのではなく、可能な限り樹木を生かし、現在ある自然の雑木林は最大限保存していただきたい。「木もれ日広場」では、現状の斜面と樹々を利用し、木製の長椅子を20脚ほど配置した林間の野外教室のようになれば、子どもや教育を大切にする堺市の文化的なまちづくりの仕掛けの一つとなる。 また、旧泉ヶ丘プールから三原台小学校、三原公園に続く緑道沿い斜面、府営住宅方面を結ぶ通称「あかみち」の自然林は三原台校区における数少ない自然景観であり、是非とも現状保存していただきたい。	木もれ日広場は、住宅地にありながら身近に立ち寄れる成熟した豊かな緑であり、可能な限り保全・活用していきます。 みんなの広場南西側の木もれ日広場は、メタセコイアが広がる見通しの良い樹林広場であり、樹木や景観を活かしたレクリエーションイベント等で活用できます。また、公園西側の園路沿いの木もれ日広場は、豊かな緑陰を形成する雑木林になっており、現状の樹木を活かしテーブルやベンチを設置することで、里山的な風景を楽しみ、人が立ち入りやすい憩いの空間として活用ができます。
33	犬を飼っている人同士の交流の場がないので、木もれ日広場（西側）に、ドッグランのできる柵を設けて欲しい。	今回の公園整備の中では、ドッグランのできる柵を設ける予定はございませんが、今後、公園を利活用していく中でのソフト事業の一つとして、参考とさせていただきます。
34	『主園路』は舗装幅6～8mは、現況舗装幅員と変わらないが、どう変わるのか？また、中学校と三原公園の間の『主園路』はどのように歩行者と自転車を分離するのか。	三原公園北側の園路は現況舗装幅員が5m以上あることから、幅員は現状維持としています。主園路上にある近隣センターとの結節点となるサークル広場では、インターロッキング舗装などデザインを変えたものとします。 歩行者と自転車の分離は、舗装に中央ラインや路面マークを標示するほか看板を設置することでわかりやす

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		くします。
35	遊具広場には、低学年向用遊具、背もたれ付きのベンチ、防災時も活用できるあずまやや、子どもたちにとっても人気である「ふわふわドーム」を設置して欲しい。	<p>トランポリンの様な跳躍系遊具である「ふわふわドーム」は、子どもから大人まで幅広い年齢層に支持されている人気の遊具です。しかし、一つの遊具に体格の違う利用者が混雑利用することにより接触や打撲によるケガの件数も多い遊具でもあります。国営公園等の大規模な公園においては、小学生以下専用のドームを設けたり、監視員を置くなど、ハード・ソフトの両面での対応策を行っています。</p> <p>三原公園の遊具広場の規模からは、ふわふわドームを安全に利用できる対応が難しい環境にあり、設置は出来ませんが、子ども同士が楽しみながら遊びを創造できる遊具を設置するとともに、背もたれ付きのベンチも等休憩施設も保護者の方が見守りやすくなるよう配慮していきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。</p>
36	既存のトイレが暗くて汚いので、明るくしてキレイで安全なトイレに改修して欲しい。	<p>公園トイレの明るさについては、大阪府安全なまちづくり条例等に基づき、「建物の入口付近及び内部においては、人の顔及び行動を明確に識別できる程度以上の照度^{※1}」を確保することを基準としています。照度アップの必要性については、現地調査のうえ、必要に応じ、対応します。</p> <p>また、トイレ清掃は週2日、月・金を基本に実施し、適宜、検査により清掃作業を確認しています。今後とも丁寧な清掃業務を継続し、適切に監督するとともに、利用マナー向上の啓発にも努めていきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。</p> <p>※1人の顔及び行動を明確に識別できる程度以上の照度とは、10メートル先の人の顔及び行動が明確に識別でき、だれであるか明確に分かる程度以上の照度をいい、平均水平面照度（床面又は地面における平均照度。以下同じ。）がおおむね50ルクス以上のものをいう。</p>

3. 三原きりん公園の整備プラン案について（パンフレット7ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
37	きりん公園のおむつ型ブランコは、子どもの足が固定されて、前や後ろにひっくりかえった時に顔などをケガしやすく、親がいないと出られないため、逆に危ないと思う。また、きりん公園は小学生もよく利用するので、小さい子ども向けだけでなく、小学生用のブランコも設置してほしい。 設置するブランコの向きは、マンションのベランダと向かいあわせにならないよう、現在と同じ向きにして欲しい。	設置するブランコは、幅広い年齢層の子ども達が使用できるよう、幼児用におむつ型ブランコを2連、児童用に通常のブランコを2連が併設したものを計画しています。なお、幼児用ブランコは保護者の方が付き添い使用することとなっています。 また、ブランコの配置については周辺環境に十分配慮した計画とします。
38	幼稚園が隣接するため、幼児用遊具交流休憩広場には、乳幼児向けのスイング遊具を設置して欲しい（例：一人用ではなく何人が同時に遊べるもの）。既存のステップ遊具は、小さい子どもがよく利用しているので、ひび割れを全て改修して欲しい。	ご意見を参考にスイング遊具を選定します。 また、三原きりん公園から緑道にかけてある六角形や円形のモニュメントは、一部緑道の園路拡幅に伴い撤去しますが、残ったものは補修していきます。
39	園路の整備や遊具等施設の設置に際し、現在植わっている桜の木を切らないでほしい。	サクラにおいても樹形や樹勢が良い健全なものは保全を基本としています。サクラも含め、間伐や伐採の対象となる樹木は、次の通りです。 ・樹勢が弱く倒木などの危険性がある樹木 ・サワグルミやニセアカシアなど台風などで比較的倒木や枝折れが多い樹木 ・密集していて生育の悪い樹木 ・維持管理上強剪定を頻繁にしなければならない樹木
40	八重桜やもみじなどの樹木も植栽して下さい。	ご意見も踏まえ、サクラの樹種、サクラ以外の高木や花が咲く低木を選定し、四季を感じることができる景観を形成していきます。
41	幼児用遊具交流休憩広場の既存パーゴラは古くて汚ないため、屋根付き休憩施設を新設して欲しい。	パーゴラは造形的に、あるいは影の効果など景観構成上重要な施設です。近年は日陰面積が大きく、日除けとして十分機能する製品もありますので、ご意見を参考に設置する周辺環境にも十分配慮し、休憩施設の選定を行っていきます。
42	集中豪雨時の通路の冠水と水たまりを改善して欲しい。	三原きりん公園は全体的に勾配のある公園であるため、雨水排水や土砂の流出など十分考慮して整備していきます。
43	既存園名板のタイル部分がはがれて危険なので、改修してほしい。	危険のないよう改修します。

4. 緑道の整備プラン案について（パンフレット8ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
44	緑道の木は、暑い日の木陰になるので、老木などの危険が予測される木は除き、やたら伐採するのは考え直してほしい。また、柿や梅、椎の木等の実りある木もウォーキングの楽しみなので、やたら伐採しないで欲しい。	緑道の樹木は、造成当初に早期緑化をめざして早く成長する樹木が多く植栽されており、また、植栽された常緑樹や実生木の成長が進み、鬱蒼(うっそう)と画一化した単調な景色となり、緑の魅力が低下しています。現在、泉北ニュータウンの緑道では、「安全・安心の確保」、「植栽品質の向上」、「今ある資源の活用と育成」を目的とした樹木更新事業を行っています。繁茂した樹木は見通しを悪くし、夜間の照明の光を遮るほか、樹木どうしが成長を阻害し、枯損木が増加し枯枝の落下や倒木の可能性が高まります。泉北ニュータウンのまちびらきから半世紀、守り育まれた“緑”が織りなす四季折々の風景を認識し、健全かつ豊かに次世代へ継承できることをめざし再整備していきますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。
45	パンフレットの表紙には『今後、校区にお住いの皆さまのお声を聞きながら、整備を進めていきます。』となっているにも関わらず、『主園路』をサクラ並木にすると、誰が決めたのですか。住民の意見は聞かないのですか。	今回お示した「サクラ並木」は市の整備案であり、このたびの整備プラン案のご案内において、住民の皆さまのご意見をお聞きしているところです。
46	『歩行者と自転車を分離するとは、具体的にどうするのか。また、緑道に左側通行の標識をつけて欲しい。	歩行者と自転車の分離は、舗装に中央ラインや路面マークを標示します。 また、緑道や公園内の通路については、歩行者を優先としており、自転車は徐行をしてもらうよう看板等で啓発していきます。
47	「新設」「改修」表示がある以外の緑道はそのままなのか？夕方5時以降は、暗くて見通しが悪くなり、不審者などの犯罪防止のため、街灯をたくさんつけて欲しい。	パンフレット14ページ「公園の施設整備の考え方」にお示したとおり、安全・安心の観点や樹木（景観）の観点を持って、整備を行います。
48	三原台小学校横の緑道は「改修」の場所の方が健康遊具使用に専念しやすいため、「新設」と「改修」を入れ替えた方が良い。	パンフレット8ページ上図の改修休憩コーナーにあるベンチは、浅く座ったり、寝転んだり、色々な座り方ができるベンチであり、泉北ニュータウンの整備時に設置された特徴的な施設です。現在は、老朽化していますが、舗装と併せて改修し、地域の方や緑道を通行する方が、自然と休憩することができる空間にしていきます。

5. 新岸池の整備プラン案について（パンフレット9～10ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
49	南西エントランスと南東エントランスの間の道は車の通行量が多く、歩行に危険だったので、周遊道路が出来ると非常に良い。	新岸池では、周遊路や緑と水辺の景観を活かした空間を整備し、健康づくりや地域の憩いと集いの場となるよう整備を進めていきます。
50	「健幸づくり」を進めるには、安全な設備や環境が重要である。周遊路は大人二人が並んで歩ける幅だけでは、歩行者とジョギングする人が交差する事故の可能性があり不十分ではないか。また、泉北北線の南側歩道幅員が狭いので、この整備計画時に広げないのか。 公園までのアクセス道路の横断歩道や歩道の見通しを遮る障害物の撤去など、安全・安心な利用が可能となる公園等の整備をお願いしたい。	周遊路の幅員（歩道の幅）については、成人一人当たりの基本寸法を 0.75mとし、余裕をもってすれ違いができる幅を確保していきます。 泉北北線の南側歩道についても拡幅に向け調整するとともに、歩道から新岸池の周遊路に入れる通路を各所に確保し、一体的に利用できる空間とします。整備に際しては、利用者の安全・安心に配慮していきます。
51	池の周りの道路は、車の通行量や路上駐車が多いため、歩道の幅を広くしてほしい。	南側については、新たに周遊路を整備することで、安全な歩行者の通行環境を確保することになります。 東側については、現在の連続植栽柵を単独植栽柵に更新することでゆとりある植樹間隔と歩道空間を確保していきます。
52	周遊路に設置するベンチ等の休憩場所は夏場や急な雨のときのために、屋根付きのものが良い。	ご意見を参考に設置する周辺環境にも十分配慮し、休憩施設の選定を行います。
53	新岸池の三原台2丁バス停の所にある木は、夏場は木陰でバスを待つことができるので、伐採しないで欲しい。	バス停における緑陰の確保について配慮します。 なお、緑と水辺の景観を活かした空間とするため、既存樹木の適正な間伐や下枝の剪定を実施するとともに、
54	新岸池に樹木を植えるのは止めて欲しい。木を植えるとムク鳥が発生して夜も寝られなくなる。	新たに植栽する樹木はゆとりある植樹間隔を確保します。また、サクラについては、複数の樹種を選定していきます。
55	北西側エントランスは、他のエントランスと差別化を図り、季節感を楽しめるようサクラ並木は「しだれ桜」で統一すればより良い。	
56	住民が寛げるエリアとして整備して終わりではなく、その空間の楽しみ方を市と市民が年数をかけて育んでいくものだと思う。将来像イメージがあれば教えて欲しい。	利用される市民の方がどのように活用されるかが大切だと考えており、今後、利活用についてワークショップや健康づくりのセミナー等を通じ、市民の方がより楽しんでご利用いただけるよう、取り組んでいきます。
57	新岸池を整備すると、不良が夜遅くまで騒いで環境が悪くなるので、それ以上触らないで欲しい。	
58	以前、小学生がマムシに噛まれた出来事があったため、今回の整備では、マムシの駆除等、危険動物対策を行っていただきたい。	周遊路等整備時に既存樹木の適正な間伐や下枝の剪定を実施することで開けた空間を確保するとともに、適宜除草を行い、利用者にとって安全・安心な空間を維持していきます。
59	池の周りには雑草がすぐ生えるため、除草のためにヤギを飼ってはどうか。	ため池の維持管理につきましては、現在、年2回の除草を行っています。ご提案いただいた内容については、今後のより良い維持管理をしていくなかで、参考とさせていただきます。

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
60	<p>新岸池は必要なのか？蚊が多いので、埋めてしまってはどうか。</p>	<p>新岸池は、中区田園の農業用水の供給源となっています。近年、ため池は農業用水の供給源のほかにも地域の貴重な自然環境として、その重要性が再認識されています。新岸池の環境を活かして、健康づくりにつながる、地域の憩いと集いの場として整備していきますのでご理解のほどよろしく申し上げます。</p>
61	<p>新岸池と同程度の面積を有する“戌ノ坊池”に関する説明がない。農業用水を必要としている農家があるとのことだが農業用としての池が二つも必要なのか疑問である。池として存続しても新岸池と同じような機能を持たすことは可能だと思うので、新岸池と同様な整備をされるようお願いしたい。</p>	<p>戌ノ坊池は、中区上之及び辻之の農業用水の供給源となっています。新岸池と戌ノ坊池のそれぞれの受益田は、地形上、標高が異なっており、送水できるエリアが異なっているため、どちらの池も必要なものとなっています。</p> <p>新岸池は、比較的開けたため池空間を有しており、四方から人の目が届くため、堤敷きの緑地空間を安全・安心に利用していただけるものと考えています。ご意見にあります戌ノ坊池につきましては、これまで通り農業用の施設として維持管理していきますのでご理解のほどよろしく申し上げます。</p>

6. 身近な公園（プレイロット）の整備プラン案について（パンフレット11～12ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
62	各遊具の下にクッションマットなどを敷くことで、雑草予防で利用しやすくなり、安全面にも配慮できるため、設置して欲しい。	ゴムマットは、すべり台や鉄棒の着地面など土が掘れやすい箇所に設置していきます。
63	既存の古い注意看板は撤去（更新）して欲しい。	既存の古い公園利用の注意看板は更新していきます。
64	屋根付き休憩施設を各プレイロットに設置して欲しい。	公園に設置する施設は、各公園の広さや遊具の配置、周辺環境等を考慮し選定しています。三原第9公園の屋根付き休憩施設を更新するほか、三原しろくま公園、三原公園に屋根付き休憩施設を設置していきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。
65	三原第9公園の砂場にある動物の置き物を、他のプレイロットの砂場に設置して欲しい。	遊具の設置に当たり、安全な利用を確保する観点から、障害物や動線の混乱による衝突をなくすため、安全領域を十分確保する必要があります。今回の整備では、より安全な公園利用を確保していくために、砂場の中には動物の置き物等遊具を設置しないこととしており、ご理解のほどよろしく申し上げます。
66	三原しろくま公園の整備では、山の裏側（北側）にある既存すべり台とスイング遊具の利用者が少ないため、遊具を全て表側（南側）に寄せたり、傾斜を活かしたローラーすべり台のような利用したくなるような規模の大きいものにしてほしい。また、サッカーやキャッチボールなどによる近隣住民への迷惑予防として、周り全体にフェンスなどで囲むなどの安全対策をして欲しい。	三原しろくま公園の北側は幼児向けエリアとして、すべり台（更新）、砂場（新設）、スイング遊具（既存）を設置し、南側は主に小学生向けエリアとして、複合遊具（既存）やブランコ（既存）、ロープウェイ（新設）などの施設の配置を計画しています。 三原しろくま公園の広場については、軽スポーツや各種ゲーム、集い、休憩等の多目的に利用する空間です。本市の公園においては、すべての球技を禁止するのではなく、他の公園利用者や近隣住民に迷惑となる行為を禁止しています。公園周囲全体に迷惑予防、安全対策として柵を設置するのではなく、節度のある公園利用について啓発していきますのでご理解のほどよろしく申し上げます。
67	整備予定の砂場は衛生状態を維持出来るような工夫をして欲しい。（犬、猫などのフンが砂に混入しないこと）	砂場については異物除去を定期的実施しており、安全に使用していただけるよう引き続き管理していきます。
68	三原第5公園の整備では、住宅に面する老朽化した既存ベンチは全て撤去、劣化の激しいコンクリート平板舗装の改修、砂場を撤去し、バトミントンなどできる空間（コンクリート舗装と野芝）にして欲しい。また、新しい遊具のラダーは鉄棒と性質が同じなため、既存鉄棒を残し、滑り台を三原第2公園の「スパイラル滑り台」のような性質の違う遊具にして欲しい。見通しを良くするためツツジを全て伐採し、生垣の高さも半分くらいの高さにして欲しい。	老朽化したベンチは更新することにしており、設置する方向は、住宅等周囲の環境に十分配慮します。 舗装は全て改修し、砂場も撤去して土舗装の広場として整備しますので、バトミントン等多目的に利用していただけます。 遊具の配置は、三原台校区にある身近な公園全体のバランスや各公園の広さを考慮しています。その公園にない遊具であっても、少し足を延ばして他の公園に訪れてもらうなど、より多くの公園へ来てもらえるよう

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		<p>計画しています。</p> <p>安全・安心対策として、ツツジは規模を小さく剪定し、生垣も周囲から公園を見ることができるように高さを下げるようにします。</p>
69	<p>三原第6公園の既存すべり台は古いので改修が必要である。</p>	<p>既存のすべり台は人研ぎ（人造石研ぎ出し）すべり台と言われる、すべり面がコンクリート製のすべり台です。泉北ニュータウンの公園には大小さまざまな人研ぎすべり台があり、特徴のある遊具のひとつとなっており、ご意見を踏まえ、すべり面を改修していきます。</p>

7. 公園を活用した『健康づくり』の考え方について（パンフレット13ページ）

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
70	<p>ウォーキングコースは、年配の方の足腰に負担がかからないよう、アスファルト舗装ではなくグラウンドの土の上でのコース検討をお願いしたい。また、会社帰宅後も十分にランニングやウォーキングができるように、グラウンドに照明器具を設置して頂きたい。</p>	<p>泉北ニュータウンの緑道は、通勤、通学、買い物等で多数の方が通行されることから、アスファルト舗装を維持していくこととなります。土舗装によるウォーキングは、各公園の広場等をご利用いただき、コース設定については、今後の参考意見とさせていただきます。</p> <p>なお、夜間の公園のグラウンド利用は想定しておりませんのでウォーキングは、公園の主園路をご利用くださるようご理解のほどよろしく申し上げます。</p> <p>公園の主園路は、大阪府安全なまちづくり条例等に基づき、「人の行動を視認できる程度以上の照度※」を確保することを基準として照明の計画をしています。</p> <p>※人の行動を視認できる程度以上の照度とは、4メートル先の人の挙動、姿勢等が識別できる程度以上の照度をいい、平均水平面照度がおおむね3ルクス以上のものをいう。</p> <p>参考に平成30年3月、南区企画総務課が発行した各地区の緑道ウォーキングマップがありますので、日常の運動にご利用ください。</p>
71	<p>健康・休憩コーナーには、夏季の直射日光を避けるためのパーゴラや日除けを設置して欲しい。遊具はメンテナンス容易で高齢者が無理なく使用できるのが良い。また、田園公園の「新設多目的広場」の一角に健康遊具が設置されるのであれば、「南側エントランス」に沿った緑道奥の「新設健康休憩コーナー」はベンチだけでなく、三原台中学校に沿った緑道の「新設健康休憩コーナー」でも、健康遊具を入れるのは1か所だけで、あとは四季の木々の変化や緑の自然をたっぷり楽しむためのベンチだけでいいと思う。</p>	<p>健康・休憩コーナーの設置場所については、緑道の樹木による木陰を活用することで日除けが確保できるよう考慮していきます。</p> <p>設置する遊具は、設置場所や環境に応じて、健康機能を兼ね備えたベンチ（例えば、背伸ばしベンチ）等を選択するなど、高齢者が無理なくご使用いただける施設として整備していきます。</p> <p>高齢者が望むベンチの設置間隔は「100～200m程度」が最も多いと言われており、緑道（各公園の主園路含む）に概ね100mおきにベンチ等の休憩施設を設置することとしています。</p>

8. その他公園整備全般に関すること

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
72	<p>今回の計画は、市民の健康増進が大きなテーマであり、比較的年齢の高い方に重点が置かれていると感じるが、子どもにも重点を置いた整備や活用をお願いしたい。</p>	<p>田園公園周辺は泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンにおいて「教育・健幸コア」として位置づけ、実践的な教育・医療・研究機能を有するとともに、「健幸」社会の実現に向けた仕組みづくりの中核となる拠点としています。</p> <p>今回の公園整備では、子どもを対象として三原公園の遊具広場や田園公園の斜面を活かした広場を新たに整備するほか、各プレイロット等にも特徴を持った遊具に更新するなど、子どもたちが三原台校区全体の公園を巡ってもらえるような計画にしています。</p>
73	<p>公園内禁煙とし、禁煙の旨を表示し、「健幸」づくり地区にして頂きたい。</p>	<p>公園内の喫煙に関しては、法律等で規制されておりましたが、公園内における喫煙行為は、他の公園利用者への受動喫煙のリスクがあると考えています。</p> <p>大規模公園を除く全ての公園については令和元年（2019年）度末までに受動喫煙防止への啓発看板を設置しており、大規模な運動公園などについては2020年度末までに啓発看板を設置することとしています。</p> <p>田園公園、三原公園におきましても、小さいお子様の利用が多い遊具付近に啓発看板を設置し、受動喫煙防止の啓発を行ってまいります。</p>
74	<p>大きな広場には、自転車の駐輪スペースが必要であり、公園内での移動をしやすくするために、新しく整備される際には随所に駐輪スペースを設けていただきたい。</p>	<p>田園公園及び三原公園は泉ヶ丘駅に近いことから、公園利用以外の目的で駐輪することが想定されるため、駐輪スペースを設けていません。また、これまでも田園公園の一部は自転車・ミニバイクの放置禁止区域として対策をしてきており、今回の整備後も引き続き同様の対策を講じていきますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。</p>
75	<p>各公園には、子どもが帰る時間にチャイムが鳴る時計や防犯カメラを設置して欲しい。</p> <p>また、各公園のベンチは防災に役立つ「かまどベンチ」を採用し、併せて防災倉庫も設置して欲しい。</p> <p>加えて、防災トイレを田園グラウンドや三原しろくま公園などの広めの公園に増設して欲しい。</p>	<p>公園施設の整備におきましては、ブランコ、すべり台等の遊具施設、ベンチ、あずまや等の休憩施設、照明灯等の施設を優先して整備しています。施設の老朽化による更新等もあることから、全ての公園に時計を設置していない状況ですが、今回、三原台校区の中心となる三原公園に新たに時計を設置するほか、田園公園の時計を更新してまいります。</p> <p>監視カメラの設置について、安全な都市空間の形成を目的として公園トイレ周囲に設置することとしており、今後、田園公園及び三原公園に設置してまいります。</p> <p>また、広域避難地や一時避難地となる都市公園ではマンホールトイレや防災倉庫等の防災施設の整備を進めており、一時避難地の機能を有する三原公園では、平成23年度に防災トイレ・防災倉庫（トイレ併設）</p>

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		を整備しました。かまどベンチの設置については、地域の防災組織等を通じて協議していきます。
76	小さな子どもの安全（大怪我の可能性のある物や場所がないこと、見通しがいいこと、暗い場所がないこと）に意識した公園にしていきたい。	遊具の設置については、公園の規模や周辺環境をふまえて安全確保に十分配慮するとともに、パンフレット14ページ「公園の施設整備の考え方」に示したとおり、安全・安心の観点から見通しの悪い樹木や植栽は間伐することで、見通しを良くしていきます。
77	近畿大学が来ることで、中学、高校、大学が揃う教育文化エリアとなるため、未来の三原台をつくるワークショップのように、活気ある街に向け、中・高・大学生たちの若者によるワークショップを企画してもらいたい。	三原台校区には幼稚園から大学まで立地することになります。多世代の方にご参加いただき、若い世代から高齢の世代まで多様な世代が楽しめる暮らし方のアイデアを「未来の三原台をつくるワークショップ」等を通じて一緒に考えていきます。
78	2ページの「未来の三原台をつくるワークショップ」を6回も開催しており、メンバーは公募で集まった住民となっているが、 ①いつ公募を行い、どのような人が選ばれたのか。また、人選はだれが決めたのかお聞きしたい。 ②その参加者で作成した「未来の三原台の姿案」を今回の整備プラン案に活かしました。と書かれているが、このプランの基礎となる重要な写真入りの図面である姿案が掲載されているのに、全く見えないようにしているのは何か理由があるのかお聞きしたい。また、整備プランに活かしたのであれば、ぜひこの図面はワークショップの成果物として三原台校区住民に公開すべきではないかお聞きしたい。	「未来の三原台をつくるワークショップ1」は、平成31年4月5日を申込締切として3月から、「ワークショップ2」は令和元年11月10日を申込締切として10月から、三原台校区の各自治会を通じ、募集案内のチラシを回覧いただくとともに、三原台地域会館へのチラシを配架し、自治会に加入されていない地域には直接配布して募集しました。 「ワークショップ1・2」とも参加定員30名程度で、応募多数の場合は抽選としていましたが、参加定員内に収まったため、申込された全員にご参加いただきました。ご意見も踏まえ、ワークショップの成果については、今後、堺市ホームページで公開することを検討します。

9. 事業全体に関すること

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
79	活性化を謳い文句にして公園を削るのには大反対である。住民の知らない間に話が進んで後戻りできないから、100歩譲ってせめて田園公園だけはきれいに残して頂きたい。	近畿大学医学部等の開設に関しては、平成29年7月以降、地元校区自治連合会定例会の機会をはじめ、単位自治会や周辺マンション、幼稚園や小学校、中学校、また校区全体の住民や全市民を対象として、合計
80	今回の公園・緑地プランを拝見すると、帳尻合わせの詭弁としか受け取れない。三原台住民が良く利用している三原・田園公園を縮小させ、ほんの一部の方しか利用することのないほかの公園の整備を力説されても、不信感しか残らない。	38回にわたる説明会を実施し、田園公園及び三原公園の都市計画変更や土地譲渡に関する市議会の議決等の手続を経て、令和元年11月に同公園の各一部を近畿大学に譲渡しました。
81	田園公園面積の縮小は前代未聞であり、日本の恥である。	近畿大学医学部等の開設は、安全・安心で健康に暮らせるまちづくりに寄与し、人口誘導効果として泉北ニュータウンの定住人口の増加や、泉ヶ丘駅前地域の交流人口
82	泉ヶ丘プールと駐車場の間の既存緑道を廃止して、近大の敷地になることは納得できない。	の増加、経済波及効果による地域価値の向上など、将来にわたって多世代が快適に住み続けることのできる持続発展可能なまちづくりを実現するものです。 近畿大学は、高度先進医療の提供をはじめ、市民福祉の向上や地域の活性化にも積極的に取組むとしています。本市といたしましても、泉ヶ丘駅前地域の活性化、ならびに高齢化が進む泉北ニュータウンの再生に向けたまちづくりの観点からも将来にわたり大きな効果があるものとして、近畿大学に土地譲渡を行いました。 田園公園及び三原公園の面積は縮小しますが、今般、整備プラン案でお示したとおり、グラウンドや広場機能など必要な機能を最大限残し、利活用できる緑空間を創出する等、公園全体で利便性の向上や機能向上を図る整備を行いますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。
83	日照権、電波障害、プライバシーの侵害等は、近畿大学の建物が建設されてしまっただけでは、解決困難な問題ばかりであるのに、計画段階で広く周知されていない。また、最初に公表された近大の移転計画からさほど変わっていない。	近畿大学の施設配置計画に伴う日照、電波障害、プライバシー等については、堺市開発行為等の手続に関する条例に基づく説明会で説明される予定です。施設配置計画は、平成28年に提示した当初案から、平成31年3月の説明会にて提示した案までに変更した主な内容は、次のとおりです。 〔譲渡予定区域について〕 隣接するマンション等と近畿大学敷地との離隔距離を取るため、泉ヶ丘プール西側及び田園公園北東側に約20mの幅を公園区域として残すこととしました。また、残る田園公園の機能性及び利便性を確保し、大学キャンパスと一体的な整備を行うため、田園公園グラウンド側の譲渡予定区域を現状の地形地物に合わせたラインから、直線的なラインに変更したほか、近畿大学の施設配置計画に影響のない譲渡予定区域については近畿大学と

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		<p>再精査を行い、さらに約 0.3ha を公園として残す計画に見直しを行いました。</p> <p>[近畿大学の施設配置計画について]</p> <p>最も高層となる病院棟の位置について、当初、泉ヶ丘ブール部分に配置していたものを、敷地中央に寄せ、周辺マンションからできる限り離れた位置に配置し、さらに当初の 15 階建てから、10 階建てに建物高さを引き下げしています。加えて、その他病院関連施設及び学部棟等についても、できる限り階層を引き下げるよう計画を見直しました。</p>
84	<p>現在、田園公園においては地域住民が堺市に対して「公園区域除外処分取消請求」の申し立てを行い裁判が行われているが、この裁判の如何によってはこの整備プラン（案）はゼロベースになることが分かっているにもかかわらず、なぜ住民に質問等の意見を求めているのかお聞きしたい。</p> <p>もし、「公園区域除外処分取消請求」の申し立てが裁判所のほうで棄却となった場合があったとしたならば、この整備プラン（案）について次のことをお聞きしたい。</p> <p>1 元々地区公園であった田園公園を堺市は近畿大学に 4.7 ha という広大な面積を売却し、近隣公園に用途変更しているが、なぜ今になって狭隘になった公園の整備プランを提案するのか。本来なら地区公園であった時に、住民の意見を聞き田園公園及び三原公園の整備プランを市民協働の理念のもと進めていくのが行政の役割であるにもかかわらず、なぜできなかったかお聞きしたい。</p> <p>2 1 ページは近畿大学医学部・病院開設予定地となっており、3 ページには「近畿大学敷地と一体的な空間を形成」と薄字で見えにくく書かれているが、その近畿大学敷地内が一体となった整備図面が書かれていない。地域住民への説明会の際には、近畿大学敷地内にも「緑道と既存樹木を活かす公園との一体化」と書かれた資料を配布しており、また、「南部大阪都市計画の変更」の答申の付帯意見には「廃止される公園の区域について、緑道の通行機能確保や緑豊かな環境の創出に取り組むよう、堺市から近畿大学に積極的にはたらきをされたい。」とあるにもかかわらず、この整備プランに建物等を含めた公園と一体化された図</p>	<p>堺市としては、法令を遵守のうえ適切な手続きを踏み、都市公園の廃止や近畿大学への土地譲渡を行ったと考えています。違法な処分とは考えていないことから、今般、残る田園公園等の整備について、住民の皆さまのご意見をお伺いしているところです。</p> <p>1 について</p> <p>公園の整備内容については、都市計画変更や土地譲渡に先立ち、平成 30 年 11 月 17 日及び平成 31 年 3 月 17 日開催の説明会において、整備における視点や方針について、ご説明しました。今般、田園公園及び三原公園の都市計画変更、都市公園区域の変更が完了し、区域が確定したことから、ご説明した整備における視点や方針を踏まえ、具体的な公園の整備内容について、ご意見を伺っているものです。</p> <p>2 について</p> <p>平成 30 年 11 月 17 日及び平成 31 年 3 月 17 日開催の説明会にて近畿大学が提示した資料において、当該エリア周辺には、近畿大学の建物は配置せず、広場空間とすることが示されており、近畿大学敷地と田園公園との間にフェンス等を設置せず、一体的に行き来・利用ができる空間を計画することを、これまでご説明してきました。一体的な空間イメージについては、今後、近畿大学の施設配置画とともに具体化していきます。</p> <p>また、草刈りや樹木剪定については、各土地の所有者が行うこととしています。特に除草作業については、市と近畿大学で協議し、その時期について事前に調整することとしています。</p>

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
	<p>面がないのはなぜかお聞きしたい。</p> <p>それに関連し、緑の保全（草刈り、樹木の選定等）は堺市と近畿大学の管理区分について、何も聞かされていないので誰がどこの敷地を定期的 に実施するのか明確な回答を聞かせていただきたい。</p>	
85	<p>①三原台校区説明会において住民から反対があったにも関わらず、近畿大学に売却する公園地の広さも変えずに強行に売却した理由を教えてください。</p> <p>②住民に説明する前に三者協定を結んだ理由を教えてください。</p> <p>③泉ヶ丘駅前の緑地(濁り池周辺)に近畿大学の病院を建設できない理由を教えてください。</p> <p>④田園公園の整備プランについて プール跡地は緑地広場にして、出来るだけ遊具等を置かなければ、災害時に仮設住宅の建設地等に利用できると思う。</p>	<p>①平成 30 年 11 月 17 日に開催した三原台校区説明会以降、市は近畿大学と協議を重ね、譲渡区域については、近畿大学の施設配置計画に影響のない区域について再精査を行い、さらに約 0.3ha を公園として残す計画に見直しを行いました。その後、法令を遵守のうえ、都市計画手続きや市議会の議決等の適切な手続きを踏み、近畿大学へ土地譲渡を行っています。</p> <p>②平成 26 年 7 月に大阪府、堺市、近畿大学の三者により締結した「泉ヶ丘駅前地域における近畿大学医学部等の設置に関する基本協定書」は、「急速な人口減少及び高齢化が進む泉北ニュータウンの再生」や「高度先進医療や研究機能の充実等による南大阪地域の医療機能向上」などの事業推進の目的と協力、大学等の設置等による地域への貢献など、主な基本的事項を定めたものであり、本協定書の締結により、目的達成に向けた具体的な検討、協議を開始したものです。その後、基本協定書に基づき、三者で具体的な検討、協議を行い、検討案を整理した上で、住民の皆さまへご説明し、ご意見等をいただくこととしたものです。</p> <p>③泉ヶ丘駅前地域の活性化をはじめ、健康長寿のまちづくり、安全・安心なまちづくりを進める上では、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンの実現に向けた取組を進めることが重要であり、ビッグバン周辺地(濁り池周辺)においては、子どもコアの基本方針のもと、都市公園として整備していくこととしています。</p> <p>④泉ヶ丘プールを含む田園公園の一部は、都市計画手続きや市議会の議決等の適切な手続きを踏み、令和元年 11 月に近畿大学に譲渡しています。旧泉ヶ丘プール北西端付近に新たに整備する「多目的広場」においては、健康遊具や休憩施設等を設置するほか、多目的に利用できる平坦な広場として整備します。</p>
86	<p>泉北ニュータウンで、最も世帯数・人口の多い三原台地区(校区)の緑地を大幅に縮小する事は、大災害時の緊急避難地を奪う事から、三原台の多くの住民の生命を軽視していると思え</p>	<p>災害発生時の避難場所としては、堺市地域防災計画で、三原台小学校及び三原台中学校が指定避難所に指定されているほか、大規模火災時等の避難場所としては大蓮公園及びその周辺が広域避難地に位置付けられ</p>

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
	<p>ない。</p> <p>併せて、新設が予定されている泉ヶ丘公園は、大蓮公園に隣接し、近くに茶山公園もあることから設置の必然性が無いものであり、都市公園（田園・三原公園）縮小の帳尻合わせでしかなく、必要もない公園の設置は、税金の無駄使いである。「泉ヶ丘駅前の活性化」という名目であるが、大阪狭山市の経済的損失を考えると、広域で見ると何のプラスにもなっていない。</p> <p>堺市は、市民の住環境の整備に力を注ぐべきですが、今回の計画は住居専用地域である三原台の住環境を破壊するといっても過言ではない。</p>	<p>ています。その他利用可能な避難場所として、近距離にある公園等の公開空地があげられ、田園公園や三原公園についても、グラウンド・広場等の空地部分に避難していただくことは可能です。</p> <p>泉ヶ丘公園を整備する区域周辺は、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンにおいて、「子どもコア」として位置付けており、泉ヶ丘公園は、同ビジョンの将来像に基づき、子どもが創造的に学び、遊ぶことや、樹林地やため池などの自然や地形を活かした様々な体験ができることなどを整備方針としています。当該地を公園とすることで、大蓮公園やビッグバン等との連携によるコンテンツの充実、地域動線の整備、駅前地域全体の活性化への貢献などに寄与することから、都市公園として整備を進めていきます。また、近接する大蓮公園の種別は風致公園であり、水辺等の良好な自然的環境を形成する土地を選定して配置するものです。地区公園である泉ヶ丘公園とは、想定している機能が異なるため、近接していても機能面の差別化が図られます。</p> <p>本市としましては、泉北ニュータウンを今後とも魅力あるまちとして維持し、持続発展可能なまちとしていくことを目的に、再生に向けた取組を進めていきます。</p>

10. 近畿大学の施設計画に関すること

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
87	近大も市民に寄り添った施設配置計画を検討していると聞いており、今後、プランの提示と意見募集の予定はあるのか。	堺市開発行為等の手続に関する条例では、開発計画に対する意見募集の手続は定めていません。本市としましては、近畿大学には、説明会において整備計画等を説明し、質問には真摯に回答するよう求めています。
88	近畿大学内のテニスコートを空いているとき近隣住民で使えないか。	近畿大学の施設開放に関しては、現時点では未定です。このようなご要望があることを、近畿大学に伝えていきます。
89	病院内の道路も食堂も利用してもらうとのことだが、この度のようにコロナが蔓延した時の利用は不可能であり、通路は住民だけの専用のものでいただきたい。	新たに開設する近畿大学内の食堂や敷地内通路については、住民の皆さまにもご利用いただけます。通路については、周辺住民の皆さまの利便性を確保するため、堺市と近畿大学との間で協定を締結し、これまでどおりの通行機能を確保します。 また、田園公園の園路として、新たに田園公園グラウンド南側に東西方向に行き来できる緑道（園路）を市所有地に整備し、周辺住民の皆さまの利便性の向上を図っていきます。
90	エスタシオン前の道路（市道三原台2号線）が渋滞することでマンションから車の出入りができないことが多々あり、近大が移転することで更なる渋滞を懸念する。ベルランド病院のように病院敷地内で車を対流させるなどの考えはないのか。対策が後手にならないように交通計画をしっかりとりたい。	現在、近畿大学が行う施設計画では、メインとなる外来患者用駐車場の出入口は、三原台1丁交差点を北方向に入った府営団地内の開発道路に面して設置させる計画となっており、緊急車両（救急車）の入口も兼ねる計画となっています。また、竹原大橋と三原台1丁交差点間（市道三原台2号線）には、業務車両等の出入口と緊急車両（救急車）の入口を設置させる計画となっています。 市では、三原台1丁交差点の西から南方向への右折レーンの増設をはじめとした交通対策を講じることにより、市道三原台2号線の混雑軽減を図っていきます。
91	近畿大学が行う解体工事で発生する粉塵により、喘息やほこりに反応する持病の咳が悪化したため、解体する重機周辺には、複数名の散水作業員の配置をお願いしたい。	近畿大学においては、解体工事における散水作業体制を整え、粉塵の飛散を抑え、散水についても徹底するとしています。工事期間中はご不便等をおかけしますが、周辺環境への対策について今後とも近畿大学へ指導を行っていきますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。
92	数ヶ月にわたる解体工事に係る騒音は我慢の限度を越えている。騒音は規制値内かもしれないが、周辺住民のことを考えた工法を採るべき。	近畿大学においては、音の出る作業の内、コンクリートガラ積み込み等敷地境界から離しての作業が可能な作業はマンションから離して行うとしています。また、建物の解体においても、防音シートの撤去は真に必要な面のみ撤去とし、構造物の破壊等比較的大きな音の出る作業は、地元にお知らせ意味から工程表の中で色分けするなど工夫を行っています。工事期間中はご不

No.	ご質問・ご意見の要旨	市の考え方
		便等をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしく お願いします。

11. その他

No.	ご意見の要旨
93	三原台は子どもも多いので、安心安全に楽しめるよう作っていただきたい。
94	<p>「健幸」をテーマにした公園等の整備案を拝見し、わくわくしてきた。全国に誇れる住民参加のまちづくりプランの実現・推進に期待する。特に、新岸池周囲の整備は、周辺の高層住宅の住民に限らず、大きな楽しみ。</p> <p>今回の整備案には、いくつかの「広場」が新設されているが、多くの住民が保存・整備を望んでいるのは、広場ではなく、まさに「緑地」「自然」である。</p> <p>「三原台まちづくり 50 年」へのビッグなプレゼント！ 反対運動が無用な心配だったと後々語られるような公園・緑地の整備がなされますようお願いしている。</p> <p>整備プラン案の冊子を手し、記載されている全ての公園・緑道を見て回り、よく考えてくださっていると、担当者の方の誠意を感じた。</p> <p>泉北ニュータウンが丘陵地を開発造成するにあたり、自然との共生を基本に緑を残す設計がされていたことに、当時の関係者への敬意をあらためて抱いた。三原台校区の自然、一本一本の樹々がいかに貴重なものであるかということも痛感した。造成当初の基本理念と住民の願望をベースに、整備プランの実現にあたっていただくことを重ねて願います。</p>
95	投函されたプランの印象としては、コンセプトやイメージは私たちのことをよく考えてくれていると感じた。
96	私が歩いて近所を見渡せる公園は、田園公園、新岸池のあたりであり、新岸池のまわりがきれいになればとてもうれしい。
97	本プランの完成を期待する。
98	健康から始まる幸せ、いいですね。早く出来上がる事をたのしみにしています。
99	三原台に引越して来て 20 年。公園、緑地、ウォーキングコースあり、何と恵まれた地域かと感心し利用せずにはいられず、毎日欠かさず歩き続けて 17 年目を迎えた。四季の移り変わりを肌で感じ健康で過ごしている。近大移転に伴い三原台校区が整備され様変わりするプラン、大いに楽しみに待っている一人である。
100	<p>40 年近くこの地域に御世話になり近大建設についていろいろ思うところがあるが、開発から半世紀経ったこの町が停滞し衰退しないよう明るく人が動くより良い町になる事を願っている。</p> <p>公園整備、娘がワクワクして見ていた。三原台の子どもたちが校区内公園巡りが遊びになりそうでいい。4 丁のあたりは本当に人の姿を見ない事がある印象なので、子どもたちの為にも地域の大人が散歩ルートの一つとして公園のハシゴが出来る空気になればいい。</p>
101	はじめから住民無視で進められて来た田園公園の計画ですが、これからの公園作りプラン案へ住民を参加させて下さったことを感謝する。
102	特に意見なし。